

## 特にお聞きしたい論点

- ① 8月以降の台風の影響や日照不足により、国産野菜が小振り、キズ・割れ等の下位等級品が増え、上中位等級の割合が減少・不足する中で、卸売市場の入荷量が減少して野菜価格が高水準となっていますが、
- ・ 卸売市場等からの調達において、下位等級品の取り扱いを増やしていますか。また、こうした下位等級を売る際にどのような工夫をしていますか。
  - ・ また、売場において値頃感をだすための対応（輸入野菜、国産の代替野菜、ホールから1/2カットにして販売する等）や、カット野菜及び冷凍野菜の販売促進など、どのような工夫をしていますか。
- ② ①の販売方法の工夫に対する消費者の反応はどうですか。
- ③ 今年の台風は、野菜の主産地である北海道に連続して上陸するなど、野菜に大きな被害がでております。今後も、北海道への台風上陸を始めとして、異常気象による野菜供給への影響がますます懸念されますが、こうした状況において、野菜を安定的に調達・販売を図る上で、販売サイドとして、こういった対応方向が考えられますか。
- ④ 主要6品目以外の野菜で、今冬において注目すべき野菜はどのようなものがありますか。